

製品安全データシート

製 品 名：フタル酸塩 pH 標準溶液(pH4.01)

会 社 名：東京硝子器械株式会社

担当部門：企画広報部

住 所：東京都千代田区鍛冶町 2-5-10

電話番号：03-3525-8424

F A X：03-3252-8226

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

- 引火性液体・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 自己反応性化学品・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類対象外
- 自然発火性液体・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 酸化性液体・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 有機過酸化物・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類対象外
- 金属腐食性物質・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない

人健康有害性

- 急性毒性(経口)・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 急性毒性(経皮)・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 急性毒性(吸入：蒸気)・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない
- 急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない
- 皮膚腐食性・刺激性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 呼吸器感作性・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない
- 皮膚感作性・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない
- 生殖細胞変異原性・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない
- 発がん性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 生殖毒性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)・・・・・・・・・・区分外
- 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)・・・・・・・・・・区分外
- 吸引性呼吸器有害性・・・・・・・・・・・・・・・・・・分類できない

環境有害性

- 水生環境急性有毒性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外
- 水生環境慢性有毒性・・・・・・・・・・・・・・・・・・区分外

pH4 標準溶液安全データシート

火災時の措置

本品は不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。
移動可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

漏出時の措置

紙等で拭き取った後、漏洩した場所は水で十分に洗い流す。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：出来るだけ皮膚等に付けないようにする。

保管：密栓して冷暗所に保管する。ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

暴露防止措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：日本産業衛生学会：設定されていない。

ACGIH：設定されていない。

設備対策：特になし

保護具：必要に応じて保護手袋、保護眼鏡を着用する。

物理/化学的性質

外観など：無色・無臭の液体

沸点：約 100℃

融点：データなし

揮発性：データなし

比重：1.64

溶解度

溶媒に対する溶解性：水、エタノール及びアセトンに極めて溶けやすい。

危険性情報(安定性・反応性)

危険性：不燃性である。

安定性・反応性：通常条件にて安全である。日光・熱を避ける。

pH4 標準溶液安全データシート

有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性：無

刺激性：目に入ると眼を刺激する。

感作用：無

急性毒性(50%致死量等を含む)：多量に摂取すると消化器を刺激し、嘔吐、血圧上昇
循環器系障害を起こす事がある。

マウス 経口 LD60 = 383mg/Kg

マウス 静脈 LD50 = 117mg/Kg

生殖毒性：データなし

催奇形性：データなし

環境影響情報

分解性：分解性良好のものと判断される。

魚毒性：データなし

廃棄上の注意

大量水とともに希釈・中和し下水に流す。容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去し、処分する。

輸送上の注意

国連分類：分類基準に該当しない。

国内規制：適用法令なし。

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れの無いことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

適用法令

化学物質管理促進法：非該当

毒物劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

pH4 標準溶液安全データシート

その他の情報

引用文献：化学大辞典 共立出版社(2001)
14504 の化学商品、化学工業日報社(2004)
安全衛生情報センターGHSモデルMSDS情報

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。

又、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。尚、注意事項は通常の実験取扱いを対象としていたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。